

能・狂言の世界を通して日本文化の本質への理解を深める

能楽鑑賞入門

第1回 能『^{ぬえ}鶴』を読み解く

基本的な能の約束事にも触れながら、毎回ひとつの作品を読み解きます。単なるあらすじの説明ではなく、時代背景や登場人物の人間像、根底にある日本人独特の美意識や死生観などに目を向けて、作品世界を掘り下げ、鑑賞する力を育てる講座です。今月取り上げる能『鶴』は、源頼政の武勇を讃える鶴退治譚を、討たれた側の鶴の立場から描いた作品です。ものごとの「光と陰」について考えます。

令和3年9月17日（金）

14時～15時30分予定（13時30分開場）

場所：国立能楽堂 大講義室（場所：渋谷区千駄ヶ谷）

講師：氷川まりこ

参加費：¥2,500 定員：80名（要予約）

申込み・問い合わせ：一般社団法人 伝統文化交流協会 事務局・柳原

E-mail：tpacdentobunka@icloud.com TEL：070-1489-1767

（電話受付時間：平日10:00～16:00）

メールにて公演名「能楽鑑賞入門0917」 / お名前 / 電話番号 / 申込人数】をお知らせ下さい。

後日、代金振込のご案内メールをお送りします。

主催：一般社団法人 伝統文化交流協会 特別協力：ジャポニスム振興会 / 歴史街道推進協議会

能『^{ぬえ}鶴』あらすじ

摂津国芦屋の里を訪れた旅の僧が、化生が出ると噂のある海べりの御堂で一夜を過ごしています。そこに一人の男が朽ちた小舟に乗って現れ、自らを妖怪・鶴の亡魂だと明かして姿を消しました。その晩、鶴の魂を弔う僧の前に鶴の亡霊が本性となって現れます。そして、国家を傾け仏法を妨げようとして、源頼政に討たれた顛末を語ります。自らを討った頼政が名を上げた陰で、自らの亡骸はうち捨てられて淀川を漂い、この里で朽ちた口惜しさ。鶴は、今なお闇をさまよう苦しみを語り、救済を願いながら消えてゆくのでした。



講師プロフィール：氷川まりこ（伝統文化ジャーナリスト）

横浜エフエム放送で開局準備から番組の企画・編成を担当。その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、1990年代以降は、能楽を中心に、茶、花、香、禅など室町期の東山文化の芸道、芸能を専門として、書籍や記事の編集・執筆、レクチャーなどを行なっている。豊かな経験と取材に裏づけられた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの取材の指名を受けている。

古典の日

『平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。』

国立能楽堂公演のチケット手配も！

講座受講者でご希望の方には、取り上げた作品が上演される国立能楽堂公演の正面席チケット（有償・割引料金）をご用意いたします。

11月26日（金）18時30分開演 企画公演～蠟燭の灯りによる～

狂言：『空腕』（茂山忠三郎／大蔵流）

能：『鶴』（武田尚浩／観世流）

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 各自マスクをご持参の上、会場内では必ず着用をお願いいたします。
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施させていただき、37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 客席は通常の約半数とさせていただきます。必ず事前予約をお願いいたします。
- 今後のウイルス感染等の状況によっては、定員数の増減や公演中止となる可能性もございます。予めご了承ください。

古典の日



私ども伝統文化交流協会は、平成24年9月施行「古典の日に関する法律」に基づく『古典の日』の趣旨に深く賛同いたし、氷川まりこ氏「能楽鑑賞入門」、関容子氏/吉崎典子氏「歌舞伎よもやま話」、奥平清鳳氏「万葉の花暦」、味方玄氏「能役者が語る能の作者」「能楽ちょっといい話」各シリーズについて「古典の日推進委員会」様の共済承認を頂き運営いたしております。

【古典の日推進委員会】プロフィール：

2008年の設立以来、『源氏物語』に代表される我が国の古典文学を始め、さまざまな分野における「古典」の素晴らしさと、古典に触れ、親しむことの大切さを「古典に親しみ、古典に学ぶ」をキーワードに、全国に率先して「古典の日フォーラム」や「朗読コンテスト」、「街かど古典カフェ」などの多彩な文化事業を続けてまいりました。

また、「源氏物語千年紀」「琳派四百年記念祭」「方丈記八百年」など日本の古典文化の節目となるイベントを主催し、2012年には、「古典の日に関する法律」が制定され、11月1日の古典の日は、正式に国の定める記念日となり、2022年には、10周年を迎えます。

「古典」は豊かな文化の源流であり、私たちひとりひとりの心の拠り所でもあります。日本人の感性や美意識、生きる力がそこに流れています。

次代を担う若い人たちに古典の親しんでもらう機会を作り、その流れをたゆまないものにしていきたいと考えています。古典は決して古いものではありません。若い感性を注いで、さらに生き生きとしたものとして伝承していかなくてはなりません。さまざまな分野の古典に触れ、学ぶことは大変に有益であると考え、これからも文化庁と協力して「古典の日」の活動を続けてまいります。

----- 広告 -----

安心・信頼・実直をモットーに、 おかげさまで創業五十四年。



当社は、東京都退職校長会様・東京都退職公務員連盟様・りそなあさひ会様をはじめ、多くの団体様と福利厚生の一環として、ご契約を頂戴している互助会でございます。火葬式から一日葬、家族葬、一般葬等、様々なご葬儀を承っております。無料事前相談等、どのようなことでもご相談ください。

差し上げます

- ① 弊社の業務をご案内した「葬祭カタログ」
 - ② イザというときすぐわかる「葬儀の心得と葬儀の流れ」
- お電話でご請求ください。無料でお送りいたします。

経済産業大臣許可(互)第3066号
株式会社 東京都民互助会

東京都民互助会

検索

<http://www.tomin-gojyo.co.jp>

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

年中無休・24時間体制・深夜もお電話を。フリーダイヤル **0120-849544** をご利用ください。
ご葬儀・無料事前相談・資料請求は…